



各教室や委員会では、2月中旬に行われるボランティアの方への感謝の会や6年生を送る会に向けての話し合いや準備が少しずつ進められています。これまでの生活を振り返り、支えてくださっていた方々へ目を向け、感謝の気持ちを表していきます。

また、引き続き、マスクの着用や部屋の換気、手指消毒等の感染症予防に努めてまいります。今後も、学校教育への御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

【静岡県ネット依存度判定システム】

近年、ICT化が進む中で、ネット依存対策への必要性が高まっています。そこで、10月に4～6年生を対象に、「静岡県ネット依存判定システム」を活用しました。判定結果を参考に生活習慣の改善につなげることができればと考えました。第2回目の判定システムが今月末となっています。

判定システムのネット依存チェックシートは8項目です。

- ①あなたはインターネットに夢中になっていると感じていますか？
- ②あなたは、満足を得るために、インターネットを使う時間をだんだん長くしていかなければならないと感じていますか？
- ③あなたは、インターネット使用を制限したり、時間を減らしたり、完全にやめようとしたが、うまくいかなかったことがたびたびありましたか？
- ④インターネットの使用時間を短くしたり、完全にやめようとしたとき、落ち着かなかったり、不機嫌や落ち込み、またはイライラなどを感じましたか？
- ⑤あなたは、使いはじめに意図したよりも長い時間インターネットを接続した状態ですか？
- ⑥あなたはインターネットのために大切な人間関係、学校のことや、部活のことを台無しにするなど、危うくするようなことがありましたか？
- ⑦あなたは、インターネットへの熱中のし過ぎを隠すために、家族、学校の先生やその他の人たちにうそをついたことがありましたか？
- ⑧あなたは、問題から逃げるために、または、絶望的な気持ち、罪悪感、不安、落ち込みといったいやな気持ちから逃げるために、インターネットを使いますか？

チェックの数が0～2個は「問題ありません。今の使い方を続けてください。」3～4個は「あなたは少しネットを使いすぎています。注意しましょう。」5以上は「あなたはネットを使い過ぎです。『ネット依存』が疑われます。」です。

静岡県教育委員会社会教育課から、家庭でできるネット依存対策がいくつか提案されています。

1 家族ができること

- (1)会話を増やす (2)ネットを維持する。(ネットを急に遮断してしまうと、本人の状態はかえって悪化してしまうため、少しずつ調整していく。)
- (3)家庭や地域での現実的な役割や活動を勧める。

2 本人と家族ができること

- (1)家族全員でルールを作る (2)ルールを書き出す (3)オフラインの時間を設定する

3 本人ができること

- (1)記録を残す (2)記録を読み返す (3)目標を立てる

静岡県のHPもチェックしてみてください。

【新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金・支援金】

令和3年12月末までの休暇対象が、令和4年3月31日まで延長されたそうです。以下のHPにて御確認ください。

(参考)厚生労働省ホームページ

・新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/pageL07_00002.html